

## 高校時代にタイムスリップして読みたい！

ただ授業を受けていただけの高校時代。そんなときにこの本に出会っていたら…。学ぶとは何か？考えるとは何か？教科ごとに講師の先生が熱く、分かりやすく伝えてくれる。特に英語の「感じる」ことの大切さについては、今だからこそ心に響くものだった。中3、高校生の人たちにオススメ！親子で読むのも良いです。

書名：『ドラゴン桜公式副読本 16歳の教科書 なぜ学び、なにを学ぶのか』

著者：7人の特別講義プロジェクト&モーニング編集部／編著

おすすめする人：熊田安真

## 子どもの気持ち、覗いてみませんか？

213、320、380、…冒頭の謎の数字に頭の中が「？」だらけに。そして腕をグイッと掴まれてどんどん物語の中に連れていかれる疾走感！小学生の男女のそれぞれの想いが素直で緻密にピッタリな言葉で綴られています。お気に入りのフレーズが必ず見つかる事を保証します。特に、ヘガティの手紙は優しくも美しい文章、痺れます！

書名：『あこがれ』

著者：川上未映子

おすすめする人：斎藤順子

## スマホなしで本当に大丈夫？

今や生活に欠かせないスマホ。それを置いて出た岐阜への旅。本を開いて題名が書いてあるその紙は美濃和紙。この感触知ってる。スマホからは得られない匂いや感触、手応え。便利で簡単に多くの情報を得られる時代。生きている実感を忘れてしまっているかもしれない。使い捨てカメラで撮った写真も必見！いい写真です。

書名：『スマホを置いて旅したら』

著者：ふかわりょう

おすすめする人：細井芳子

## あなたにとって最悪なのは自分の死ではない

では最悪とは何か。最悪を回避するには身銭を切る必要がある！あなたが責任ある行動を取れば人類は生き残る！あなたは自分の行動に責任を取っているだろうか。なぜ私たちが生きる社会システムは身銭を切らないと持続不可能なのか。現代最高の哲学者が社会の諸問題の解決策として身銭を切るという観点で世界を切る！

書名：『身銭を切れ 「リスクを生きる」人だけが知っている人生の本質』

著者：ナシーム・ニコラス・タレブ／著 望月衛／監訳 千葉敏生／訳

おすすめする人：飯島悠甲

## 誰かのために生きることは強くて美しい

死後、一日だけ現世に戻ることができ、亡くなったことを知らない人には会うことができる。そんな限られた時間と条件の中で、四人の男女がそれぞれ、家族や恋人のために何ができるのか。大切なものに気づいたり、絆を深めていく姿に、人は一人じゃないんだと温かくはげまされる。たくさんの優しい愛にあふれた一冊。

書名：『さよならの向う側 i love you』

著者：清水晴木

おすすめする人：金森由利香

## きっと明るい場所へ辿り着けるよ。

異なる家庭環境で生きる二人の少女、冴と心晴。感染症の時を経て、それぞれ心の傷を負います。しかし暗い日々の中でも素晴らしい出会いや希望を手に入れます。23歳になった二人は…。二人を取り巻く人々からも、生きていく上で本当に大切なことに気付かされます。この物語の中にあなたの心に響くものが見つかるはずです。

書名：『私たちの世代は』

著者：瀬尾まいこ

おすすめする人：山本仁喜子

## 100歳の経験を生かした大冒険

はちゃめちゃな老人アラン・カールソンは100歳の誕生日パーティーが開催される数時間前に老人ホームから抜け出します。抜け出した後、予期せぬことで大金が入ったケースを手に入れギャング団に追いかけられたり、爆弾の専門家として歴史的事件に影響を及ぼすなど100歳とは思えない老人の大冒険が始まります。

書名：『窓から逃げた 100歳老人』

著者：ヨナス・ヨナソン／著 柳瀬尚紀／訳

おすすめする人：伊藤彩花

## もし視えたら、運命を替える覚悟はあるのか

ある日、人の死が視える「目」に気づいた青年の話。そして、その「視えた」人に自分が関わることで運命が変わりその人を救うことが出来る。ただ、それには自らの身への代償を伴うことになる。視えてしまった人の運命と愛する人との自分の幸せを替えることが出来るのか。葛藤の末に選んだのは。そこにはもうひとつの…

書名：『フォルトゥナの瞳』

著者：百田尚樹

おすすめする人：柴田真弓